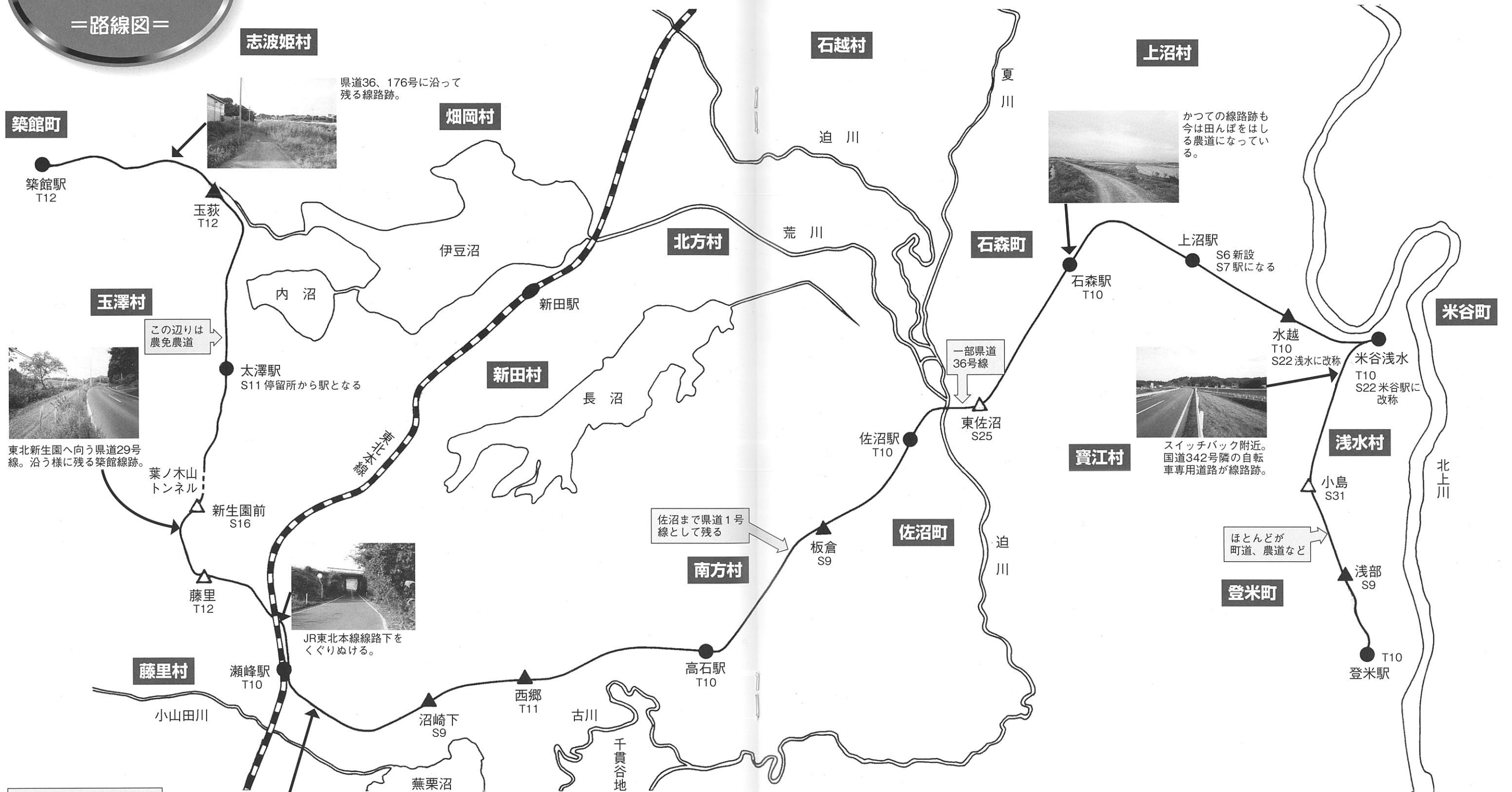


仙北鐵道を歩く
1
=路線図=



- 〈略 図〉
- 駅
 - ▲ 停留所
 - △ 新設された停留所
 - T : 大正 S : 昭和

線路跡は瀬峰駅から県道1号線へ向う。佐沼まではひたすら県道1号線を走り、迫川を渡る。

注) この略図は昭和11年の地図をもとに作成しました

仙北鐵道を歩く
2

玉荻



現在、新幹線の敷設で停留所のおもかげは薄い。

藤里



向いに瀬峰八幡神社が建つ。

西郷



まわりには農協や商店が並ぶ。

板倉



鉄道時代の停留所がそのまま残る。かつては、道路の反対側に建っていた。

築館



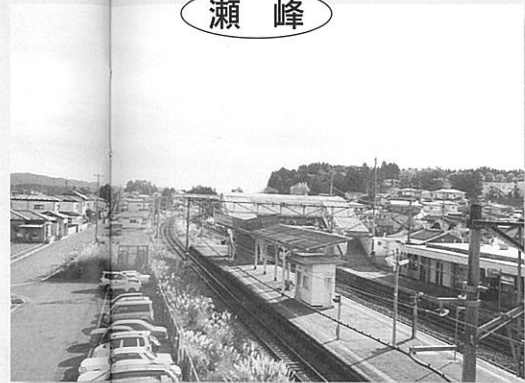
宮城交通(株)築館営業所になっている。

太澤



農道がまっすぐ伸びる。今は商店や民家になっている。

瀬峰



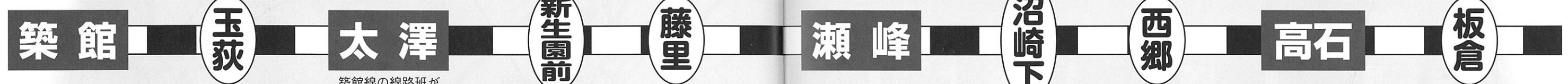
本社は住宅が建ち、かつての線路は県道へつづく道になった。

高石



県道1号線となり、かつての線路跡を自動車が行き交う。

いま



むかし

築館



大正末から昭和20年代の激動期に、主に栗原郡の人々の生活を支えてきた駅である。

藤里

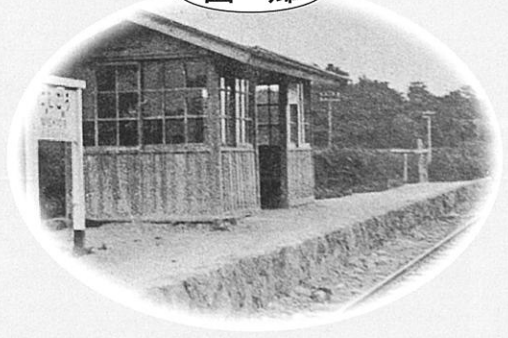


瀬峰



大正13年、登米から本社の建物がうつされた。

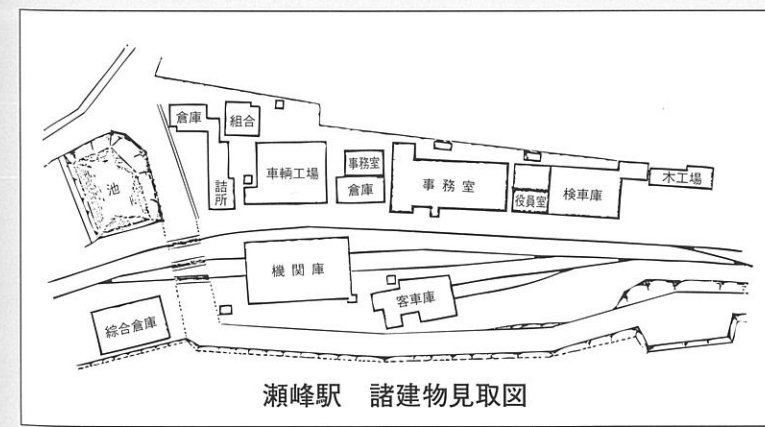
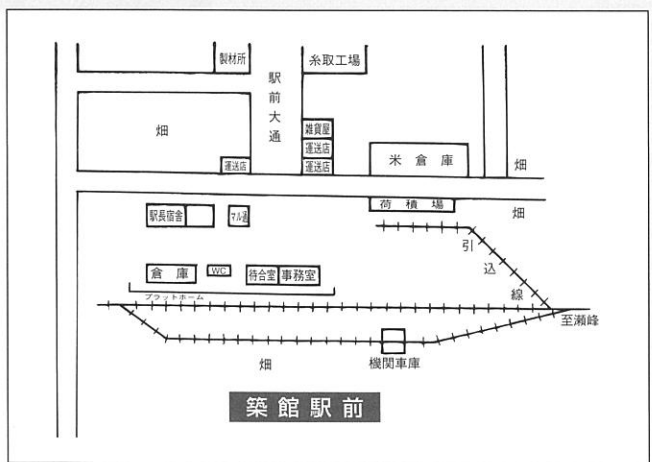
西郷



高石



かつて大きな村であったがバスが運行されていなかったため利用者が多かった。米の貨物輸送数量も多かった。本来『南方駅』とする予定が同駅名が、鉄道院線内にあり、高石駅となった。



〈略図〉
■ は駅
○ は停留所